



CONTENTS

特集	イメージソング完成	表紙
剪定養成講習会	3	
就業先情報	4	
わが町ぶらり	5	
家事援助	6	
7区通信/会員のひろば	8	
会員紹介/事故・実績報告/お詫びと訂正/ お知らせ		裏表紙

福岡市シルバー人材センターイメージソング完成

きっと もっと これから

コロナ禍で皆が集まることが難しくなった令和2年度。そのような状況の中でも「何か出来ることはないか」「皆で心を寄せ合えるいい方法はないか」と女性副委員長らを中心に意見を出し合い、イメージソングを作成することとしました。

作詞・作曲・歌唱はシンガーソングライターの半崎美子さん。昨年12月に自ら来福され、女性副委員長らや就業会員一人一人の声に耳を傾け、集めた言葉の数々を歌詞に込めて制作していただきました。

タイトルは「きっと もっと これから」。シニア層がいきいきと前向きでいられるような応援ソングとなっております。

イメージソングは当センターのホームページで視聴ができます。また歌詞、楽譜も掲載しておりますので、歌ったり、演奏したり、たくさんこの歌に触れていただき、皆さんに愛される歌となりますよう願っています。



▲楽曲制作者の半崎美子さん



↑ 視聴はこちらから ↑

公益社団法人 福岡市シルバー人材センター

きっと もっと これから

作詞・作曲・歌 半崎美子

いつだって生きる事は簡単で難しい
だからこそ手を取って支え合える

限りない希望は今
明日のためにできること
ささやかな喜びは
あなたのためできること

誰だって迷うときや立ち止まる時がある
だけどほら一人じゃない助け合える

輝ける希望は今
明日を作る糧になる
つながれる喜びと
新たな夢に出会えること

時を重ね見えてくる
本当に大事なものが
時に笑い 時に泣き
あなたと共に生きること

限りない希望は今
明日のためにできること
ささやかな喜びは
あなたのためできること



半崎美子さんよりメッセージ

実際に皆さんと直接対話をしたことで感じた、パワーの源や、輝ける日々の理由を、声を合わせて一緒に歌えるようなシンプルな歌詞で曲にしました。

「明日のためにできことがある」ということは日々を彩る活力になる。そして誰かのために役立てること、その喜び。それも、皆さんのが輝いている理由のひとつだと感じました。

関わりあいの中で生きることは、パワーを必要としますが、その分、生き生きと、今を、明日を語り合える。そんな場所や仲間がいることが、強くしなやかに日々を重ねる皆さん之力になっているのだと。

この歌を皆さんと一緒にになって、元気に歌っている姿を想像しながら書きました。

いつか私も一緒に声を合わせてこの歌を共に歌いたいです。

半崎 美子





剪定養成講習会はじまる!!

当センターでは30の班に約200名の剪定就業会員がいらっしゃいます。

剪定は芸術だと言われますが、生茂った樹木が剪定によって形が整った美しい姿に変わります。

お客様からのお褒めと感謝の言葉が生き甲斐に繋がっています。

剪定は誰もが直ぐに出来るものではなく、植物が大好きで美しいものへの探求心があり、気力と体力が備わり、向上心に溢れた方が知識と技能を積み重ねて実を結びます。

お客様から喜んでいただくためには、その腕を鈍らせてはいけません。

当センターでは、レベルアップのために様々な講習会を長年開催していましたが、職群班長による剪定連絡会議で「就業経験1~3年以上の会員を対象に、原点に戻って知識と技能を勉強する講習会を実施しては如何か」との提案があり、今年5月、舞鶴公園においてそれがスタートしました。自分を振り返り、新たな勉強に取り組んでいただくため、剪定養成講習会と命名しました。



講習は1日、受講者は最大6名までです。座学では、Q&Aや自由討議の時間を設定しました。実技では、講師の目が行き届くよう、樹木1本に最大3名までの受講者が付いて剪定を行いました。受講生の皆様の作業手順や出来栄えは流石と思いましたが、講師からはさらなるレベルアップの指導がありました。

今回、講師は福岡県樹芸組合連合会の専属講師(梅山糺講師)と南出張所の職群班長(竹原捷司班長)に務めていただき、受講者の皆様からは、自分を振り返り、目からウロコの場面もあり、とても役に立ったとの評価をいただきました。



□ ■ □ ■ * ♀ 就業先情報 * ♀ * ■ □ ■ ■ □

社会福祉法人きりん会きりん保育園・学校法人やなぎ学園きりん幼稚園様(城南区)

西鉄12番系統の友泉亭バス停から徒歩5分、閑静な住宅街の一郭に社会福祉法人きりん会きりん保育園と学校法人やなぎ学園きりん幼稚園があります。



6月24日(木)、令和3年度の協力事業所顕彰のため両園をお訪ねしました。

就業機会創出課の判田課長から保育園の友枝美恵子理事長と幼稚園の友枝節雄園長に感謝状と記念品を贈呈しました。請負業務に加え派遣事業も承っており今回のダブル受賞となりました。

城南出張所とのつながりは幼稚園の卒業証書の部分書きとゼッケン書きから始まりました。「手書き」

の良さが若い保護者の方々に大変評判のこと。

園には施設内の清掃や子供見守り等の業務に7名の会員が就業しており、友枝節雄園長から「園児がよく使う手洗い場は衛生面に気を使って、より丁寧に清掃していただき、助かります」とお褒めの言葉をいただきました。

きりん幼稚園の特徴を少しご紹介しますと、全てのクラスにはピアノがあります。「ログホール」にはプロの演奏家が使用している楽器がおいてあり園児たちの情操教育に役立ててあります。



園児が300人を超える人気の幼稚園で、園が続く限り「ゼッケン」は手書きですとの言葉が飛び交うなど和気あいあいのひと時でした。

広報委員 池末 一弥

老人福祉センター早寿園様(早良区)



早良区所在の老人福祉センター早寿園は、高齢者の健康増進、教養の向上、及びレクリエーション等を提供している施設です。入浴事業、各種講座、教室、サークル等に加え、介護事業を実施していますが、新型コロナの影響で現在は利用者が大幅に減少しているとの事です。コロナが収束して、早く元の利用状況に回復してほしいものです。

6月23日(水)協力事業所顕彰に基づき、この早寿

園で感謝状贈呈式が行われました。事務局の判田課長より樋口園長へ感謝状と記念品が贈呈された後、この2名と波多江委員長の3名で情報交換が行われました。

シルバーからの就業は剪定・除草作業で、9名の会員がお世話になっており、同園長からはシルバーの方たちは良くやっていただいている、とても助かっていると感謝の言葉がありました。



広報委員 金田 博保

わが町ぶらり散歩

～舞鶴公園と
福岡城外堀の石垣～

79



舞鶴公園は黒田氏の居城であった福岡城の本丸址を中心とする公園で、四季折々市民の憩いの場となっています。

城址に天守閣はありませんが、潮見櫓や下之橋御門、多聞櫓、旧母里太兵衛邸長屋門、名島門などの貴重な文化財が残されています。

園内には、陸上競技場などのスポーツ施設が整備され、梅や桜、牡丹、お堀の蓮など四季折々の花々も楽しめます。

また、平和台球場跡の鴻臚館址展示館では、大和朝廷時代の迎賓館であった鴻臚館の遺物出土品を展示しています。

隣接して大濠公園や福岡市美術館、日本庭園などがあり、歴史と文化とスポーツの憩いの場として多くの方々に親しまれています。

その福岡城址で貴重な発見がありました。

明治43年に路面電車を敷設した際に、お堀の一部が埋められましたが、昭和53年の地下鉄開通工事の際に、そのお堀の北(外堀)の石垣が見つかったのです。

明治通りの赤坂交差点から西へ2分ほど歩いた

ところに、その福岡城外堀の石垣が保存され、土・日曜日の午前10時から午後5時まで見学することができます。

その外堀の石垣を案内し解説を担当するのがシルバー人材センターの会員で、現在、大野隆章会員と浜泰裕会員の二人がシフトを組んで解説に当たっています。

入り口から階段を下りると、ゴツゴツとした大きな岩が長さ10数メートルにわたり積まれており、最も高いところで2.2メートルもあります。

水中に沈んでいた石垣なので、自然石や墓石などがそのままの形で残されており、「今立っているところはお堀の水の中だったのですよ」などと、来訪者にやさしく解説しています。

解説員の一人浜泰裕会員は、西日本新聞の取材に対し、「現役時代に路面電車で天神まで通勤していましたが、地下にこんなものがあるとは全く知りませんでした」と、街の移り変わりに思いを巡らせていました。

広報委員 大津 英世

参考資料：西日本新聞記事





ありがとうは魔法の

「ありがとうの笑顔」が、私たちの喜び。そして

いつもお野菜たっぷりの
美味しいお料理を
作ってくださって
感謝しています。



Nさん(発注者)

野見山 真澄会員

家族が多いお宅では、
いつも発見があり、
楽しくお仕事させて
いただいている。



高齢者の方の
お役に立てることが
喜びです。



溝口 多紀夫会員

体を動かすことで、
心もはずみます。
仕事楽しく、
長年働いています。



小野 和子会員

会員登録して
気持ちが前向きになり、
元気いっぱい
意欲満々です。



山本 雅子会員

お客様より感謝の
言葉をいただく事が
何よりの励みです。
これからも「和顔愛語」を心掛け、
人生を精一杯
楽しみたいと思います。



平井 久子会員



基礎研修会 (年12回実施)

福祉家事援助サービスの仕事に係るうえでの心構えや接遇マナー等を、会員の体験談も交えながら学びます。



掃除講習会 (年3回実施)

様々な場所や汚れに
最適な、お掃除テクニクスや整理整頓術等
を学びます。



言葉 パワーの源です。



一生懸命をモットーに、
発注者に喜んでいただけるよう
頑張っています！

久保山 政洋会員

皆さんと会話しながら、
笑顔を心掛けて
二人で楽しく
働いてま～す！

木本 好子会員

田坂 優子会員

毎回、仕事の効率や
バランスの良いメニューを
考えながら働く事は、
自分自身の
脳トレにもなっています。

森下 雅子会員

私たちと一緒に働いてみませんか？

福祉・家事援助サービスの仕事は「きつい」というイメージを持つ方もいらっしゃるかと思います。確かに家事の仕事は大変な面もありますが、困っている方に手をさしのべ、喜んでいただける素晴らしい仕事です。皆さん、素敵な出会いが待っています。これまでの人生経験を活かし、楽しくやりがいを感じながら福祉・家事援助サービスのお仕事をしていただけるよう、私たちがサポートします。

① 仕事の紹介

センターには、沢山の福祉・家事援助サービスの依頼がきており、その中からあなたに合うお仕事を紹介していきます。条件が合わないと思われたら、遠慮なく断ってください。

② 福祉・家事援助サービス担当者は、あなたの相談役

「最初の話と条件が違う」「仕事がきつい」「仕事先で失敗をした」そんな時は一人で悩まず、出張所の福祉・家事援助サービス担当者に相談してください。気持ちよく、お仕事をしていただけるようサポートします。また、シルバー人材センター賠償責任保険に加入していますので、物損の場合も安心してご相談ください。

③ 研修会の実施

掃除や料理に苦手意識のある方もご安心ください。お掃除講習会や献立勉強会等、皆さんの生活やお仕事に役立つフォローアップ講習会を定期的に実施しています。ぜひご参加ください。

新たな自分との出会いに
チャレンジしてみませんか？
お待ちしております。

福祉・家事援助サービス
専任担当理事

櫻井 とし子



子育て支援講習 (年4回実施)

昭和と今の育児は違う！今どきの育児の常識を食育や沐浴などのテーマに沿って学びます。



献立勉強会 (年2回実施)

「家庭料理」の調理実習を通して、栄養バランスや、いつもの献立をもっと美味しくするコツを学びます。



| 早良区 さわらく

感謝状贈呈式

早良出張所会議室で6月2日(水)、シルバーの発展に尽力された会員30名への感謝状贈呈式が行われました。贈呈式は波多江委員長の司会進行で、事務局より判田課長、内藤事務局長、そして小早川専任担当理事の出席で、14時からと15時からの2回に分けて実施されました。



事務局長の挨拶後、仕事その他で出席できない会員を除き、出席者22名に対して委員長が名前を読み上げ、事務局長より1人ずつ感謝状が授与されました。続いて、会員の皆さんのがんばり永年にわたるシルバー

への貢献をたたえて、屋外で表彰者の記念撮影を行いました。

入会説明会(早寿園)



早良区の老人福祉センター早寿園で6月29日(火)入会説明会が開催されました。早良出張所からは中野副委員長と大林会員拡大担当が出席し、入会希望者に先づビデオ解説を行いました。

続いて、同副委員長から「シルバー人材センター会員のしおり」に基づき詳しく説明があり、仕事の内容、就業までの流れ、配分金等について質疑応答が行われました。

説明会の後で、樋口園長よりシルバーの会員や一般の人を対象にしたスマホ教室とパソコン教室を早寿園で開きたいとの要望があり、開設に向けて検討することになりました。

広報委員 金田 博保

| 西区 にしく

第1回西区駐輪場
リーダー・サブリーダー会議

標記の会議が「非常事態宣言」終了を待って、6月25日(金)午前10時から出席者15名参加のもと、伊藤主事の司会進行で、西出張所大会議室で開催されました。

本年度最初の会議であるため、出席者全員の自己紹介のあと、生島委員長より「安全適正就業」への注意喚起などの挨拶がありました。

その後、駐輪場就業実務についての研修では、公共担当による「新規駐輪場就業者の業務概要」の説明と、「福岡市有料自転車駐輪場管理業務に関する取り決め」のリーダー・サブリーダー業務に関する記述部分の確認及び事例説明がありました。

伊藤主事より、過去6ヶ月間駐輪場利用者からの大きな「苦情」が発生していないことに関し協力の



▲挨拶をする生島委員長

お礼が述べられ、7月5日からの「交通手段申告書兼駐輪料金支払報告書」の記入方法の変更、及び「還付請求書の押印完全廃止」についての変更の説明がありました。

各駐輪場リーダー、出席者より今後の駐輪場就業の課題解決に向けて情報交換が活発に行われ会議は終了しました。その後「姪浜駅高架下自転車駐輪場」を視察し管理員の就業実態を確認しました。



▲会議中のリーダー・サブリーダー

広報委員 川口 雅正

| 東区 ひがしく

内田理事長「香椎浜公園 刈払除草作業現場」を視察



6月10日(木)、
香椎浜公園刈払
除草現場で安全
パトロールが実施
され、本部から安
全担当の大谷・福
江・苧園専任担当

理事、渡部監事、出張所から小林委員長ほか関係担当者が出席しました。

7時50分、長谷川・大石班総勢27名が集合しミーティングが始まりました。小林委員長挨拶の後、長谷川班長から作業前点呼:「体調チェック」「持ち場、役割の確認」「作業手順や注意事項」「安全3箇条の唱和」と機械取扱者、ネット班安全要員に対する諸注意があり、8時15分から持ち場に分かれ作業が開始されました。

作業開始後2回目の休憩に入った9時40分、内田理事長、永田常務理事、内藤事務局長、堤業務課長が現

場到着されました。

内田理事長の視察の目的は「近年、賠償事故や傷害事故が頻発している刈払除草作業現場の現状把握」「理事長自ら就業会員へ感謝の気持ちを伝えるとともに、事故防止について注意喚起することで、会員の就労意識の向上と安全意識の醸成を図ることです」。

内田理事長は「暑い中、安全に留意して作業をされている会員の皆様、本当にご苦労様です」と最初に述べられ、日頃の作業に携わっている会員を慰労するとともに「事故防止について、さらに意識を高めていただきたい」と挨拶されました。

理事長は、挨拶後に再開された作業現場を長谷川班長の案内で視察され、安全な刈刃であるスーパーカルマーと無双との性能の違い(音の高さ、重量等)の説明を受けた後、班長から指導を受けながら刈払除草



の実技体験をされました。

香椎浜公園の
刈払除草作業は、
6月23日(水)に終
了しました。

広報委員 宮川 洋

| 中央区 ちゅうおうく

刈払除草現場パトロール



7月5日(月)午前8時から、松山委員長、柳原安全担当と共に、中央区舞鶴公園の刈払除草現場をパトロールしました。

今回の目的は、4月に実施した刈払除草実技講習会の成果確認と、安全パトロールを兼ねたものでした。

住山班長以下20名の会員が早朝現場に集合し、まず今日使用する刈払機の点検をし、異常が無いことを確認しました。

その後朝礼を実施し、安全3箇条の唱和の後、当日の作業手順と危険箇所の確認をし、会員全員で共有しました。

その後会員は数名のチームに分かれ作業に入りましたが、まず安全ネットのチームが安全ネットを張り、その後作業の進捗に合わせて適正に移動していました。

作業では先の実技講習会で学んだことを一つ一つ確実に実行し、お互いカバーし合いながら石飛ばしなどの事故がないよう安全作業に努めています。

住山班長は、「刈払除草作業はなんといっても安全第一であり、基本に則った作業と、熱中症予防のための適切な休養と水分補給に努めてもらいたい」と、述べられました。

ちなみに中央区の刈払除草班は令和元年8月以来、1件の事故も発生していません。



広報委員 大津 英世

| 南区 みなみく

生涯現役社会へむけて



福岡市では人生100年時代に向けて、心身ともに健康で自分らしく暮らせる社会の実現を目指すプロジェクト「福岡100」に取り組んでいます。

これは、とりもなおさずシルバー人材センターの「生涯現役社会」の思いに合致した理念です。

しかしシルバーセンターでは、公共業務・民間業務・派遣業務において各種要望に応える就業会員の人数が不足しているのが現実です。

そのため会員拡大を念頭に各出張所とも努力していますが、南出張所では6月24日に10:00～12:00

の2時間をかけて2F研修室で新入会員研修会を開催、新しく会員になった11人(男性4人、女性7人)に対し、就業上の注意や手続き事項、安全対策その他細部にわたっての注意事項を説明しました。

業務の説明が終った後は、新入会員は自分の希望する職種に携わる担当職員と更に突き詰めた話し合いを重ねました。

昨年と今年はコロナ禍のせいで仕事の依頼が多少落ち込みましたが、収束後は以前にもまして大幅に依頼が増加し、高齢会員の経験と知恵が求められてくることが考えられます。

この日、新入会員になった夫婦(写真右)は5月に福岡へ移住してきたばかりですが、それ以前は長崎でご主人はマンションの清掃を12年、奥様は家事援助に9年も従事していたというベテランです。「家にいるのが嫌」「地域の役に立ちたい」という思いで今回応募しましたが、楽しみですと話していました。



広報委員 伊藤 建規

| 城南区 じょうなんく

城南区役所資源物回収BOX
受付業務

コロナ禍、日々汗を流しているリーダーの草場会員にお話を伺いました。

城南区の資源物回収BOXは、車が横付け出来るスペースがあり立寄りやすく、荷物が降ろしやすいため、とても便利です。特に土・日・祝日は利用者が多く、車の行列が出来るほど混み合うとか!資源物の持込でダンボールが一番多く、コロナ禍の影響か時代を反映しているようです。また、



困った事もあり、「ここは何でも回収してくれると思って、資源物ではないパソコンなどの家電製品やフライパンなどの燃えないゴミを持って来られる方もいらっしゃいますので、丁寧にご説明しています。」との事でした。

最近は雑紙の持込も増え、古紙と雑紙の分別や紐の緩みを縛り直したり、女性会員の行き届いた“ひと手間”的心くばりがある事が分かります。資源物持込の際は、改めて分別を確認せねばと思いました。



広報委員 池末 一弥

博多区 はかたく

福岡市からの新規受託事業 「道路等維持補修業務」



道路の側溝や樹の清掃、道路や歩道の段差解消、道路や水路の除草など、市民からの通報や市職員のパトロールなどで発見された内容を、区役所からの指示書に基づき作業を行う業務です。

除草や補修などについては事前に安全を確認し、シルバーで対応可能な作業を請ける体制を整えています。

毎日作業者4名と監督者で平日のみ9時から17時



の2班編成ローテーション就業。

1年を通じての仕事となる為、これまで冬場に作業が少なくなっていた他職群のメンバーも、全体の就業日数を考慮しながらローテーションに加わり取り組んでいます。

現場が毎日変わるので、詰所で朝礼をして、1日の作業の確認を行い、現場へ出発します。

雨天時は翌日以降の作業場所の下見・確認や、道路等の危険個所のパトロールを行い、そのパトロールから新たな補修作業の発注につながります。

広報委員の私が取材してきた日は(写真参考)街路樹の根が張り、歩道ブロックが浮き上がってグラグラしてきている箇所の補修作業でした。

非常に地道な作業であり、丁寧な作業が求められます。

この新規受託事業を事故なく市からの信頼を得られるよう日々研鑽しています。

広報委員 松崎 広昌

会員のひろば

博多区 山田 益雄会員



「我が家の大ドンナ」(絵画)

モデルは最愛の奥様です。

早良区 小田 泰三会員



ぶらさがり馬(写真)

熊本河尻神宮で、馬にしがみつき振り落とされないように、ゴールまでいく祭りの様子です。

会員紹介



上杉 守さん
光子さん
(南区)

夫婦共に会員です♥
夫唱婦隨で頑張っています。

「昔はよく胃潰瘍を患っていましたが、今は力いっぱい仕事をして、元気いっぱいです」と笑う守さんの横で微笑む光子さん。ご夫婦同じ年齢(75歳)でシルバー人材センターでチラシ配布を頑張っています。

上杉さん夫婦は30年近く薬院で寿司屋を経営していましたが65歳をもってすっぱりとやめました。それまではずっと働き詰めの生活だったので時間をもてあそぶことがないように短時間でも働けるところを探していました。

そこで見つけたのがシルバー人材



センターのチラシ配布の仕事でした。

実際に仕事にとりかかると、生来の働き者の性分で、チラシ・市政だよりを合わせて夫婦で6,000部ほども配布し、南出張所トップの部数をこなしています。

光子さんはチラシ配布だけでも大変なのに、週一回は家事手伝い部門の仕事で晩御飯づくりを10年も続けています。

その他に公民館活動でソフトバレーに熱中しています。現在は2週間に3回ほどの活動ですが、2年前までは1週間に5回も練習や試合で青春(?)を謳歌していました。「バレーが好きで寿司屋を辞めたようなもの」とまで言い放っています。

守さんは昔は武道(居合抜き)を実践し心の修養に励んでいました。現在は、寿司屋時代にバランを切っていた包丁技術を活かして切り絵を手がけたり、ギターを弾いたりと多彩な趣味で現在の生活を謳歌しています。

広報委員 伊藤 建規

令和3年度 事故発生状況

傷害事故	6件
賠償事故	3件
自動車事故	1件
合 計	10件 (前年同月比+3件)

注意！秒
怪我一生

(令和3年6月現在)

令和3年度 実績報告

会員数	6,799名
男 性	4,174名
女 性	2,625名
就業者数	3,436名
就業率	50.6%
事業収入	4億5,322万円

(令和3年6月現在)

6月18日発刊のシルバーだより6月号(Vol.178)の役員紹介で誤植がございましたので、ここに訂正し、お詫び申し上げます。

お詫び と 訂正

誤植箇所
シルバーだより
6月号

P4 引き続き就任中の理事・監事
(誤) 常任理事 永田 淳一 → (正) 常務理事 永田 淳一

P5 令和3年度各区役員紹介
(誤) 博多区職群班長 東福岡高校 原口 敏郎
→ (正) 博多区職群班長 東福岡高校 山村 雅則

大変失礼な誤りがありましたことをお詫び申し上げます。

令和3年度会費の口座振替について

シルバーだより6月号(第178号)でお知らせしたとおり、7月20日に会費の口座振替を実施しました。
預金残高の不足などで口座振替ができなかつた方を対象に、下記の日程で再度口座振替を実施します。振替日の前日までに、登録の預金口座に入金をお願いします。

口座振替実施日／令和3年9月21日(火)

「ふくおかシルバーだより」

発行元／公益社団法人福岡市シルバー人材センター

◎ご意見やお便りをお待ちしています。

〒812-0044 福岡市博多区千代1丁目25-15

TEL(092)643-8200 FAX(092)651-5000

HP <http://www.fukuoka-sjc.org/> e-mail honbu@fukuoka-sjc.org